

10月1日は 国勢調査の日

調査員が9月30日までに調査表をお届けします

第12回目の国勢調査が10月1日全国いっせいに行われます。9月30日までに、調査員がみなさんのお宅へ調査票の記入をお願いにあがりますので、ご協力ください。それではみなさんに記入していただくもの、記入するときの注意事項を簡単にお知らせいたします。

記入する項目は

世帯員全員について

氏名及び男女の別、世帯主との続柄、出生の年月、配偶者の有無、国籍、仕事をしたかしないか。

就業者、通学者について

従業地又は通学地、従業上の地位勤め先・業種などの事業の種類、本人の仕事の種類。

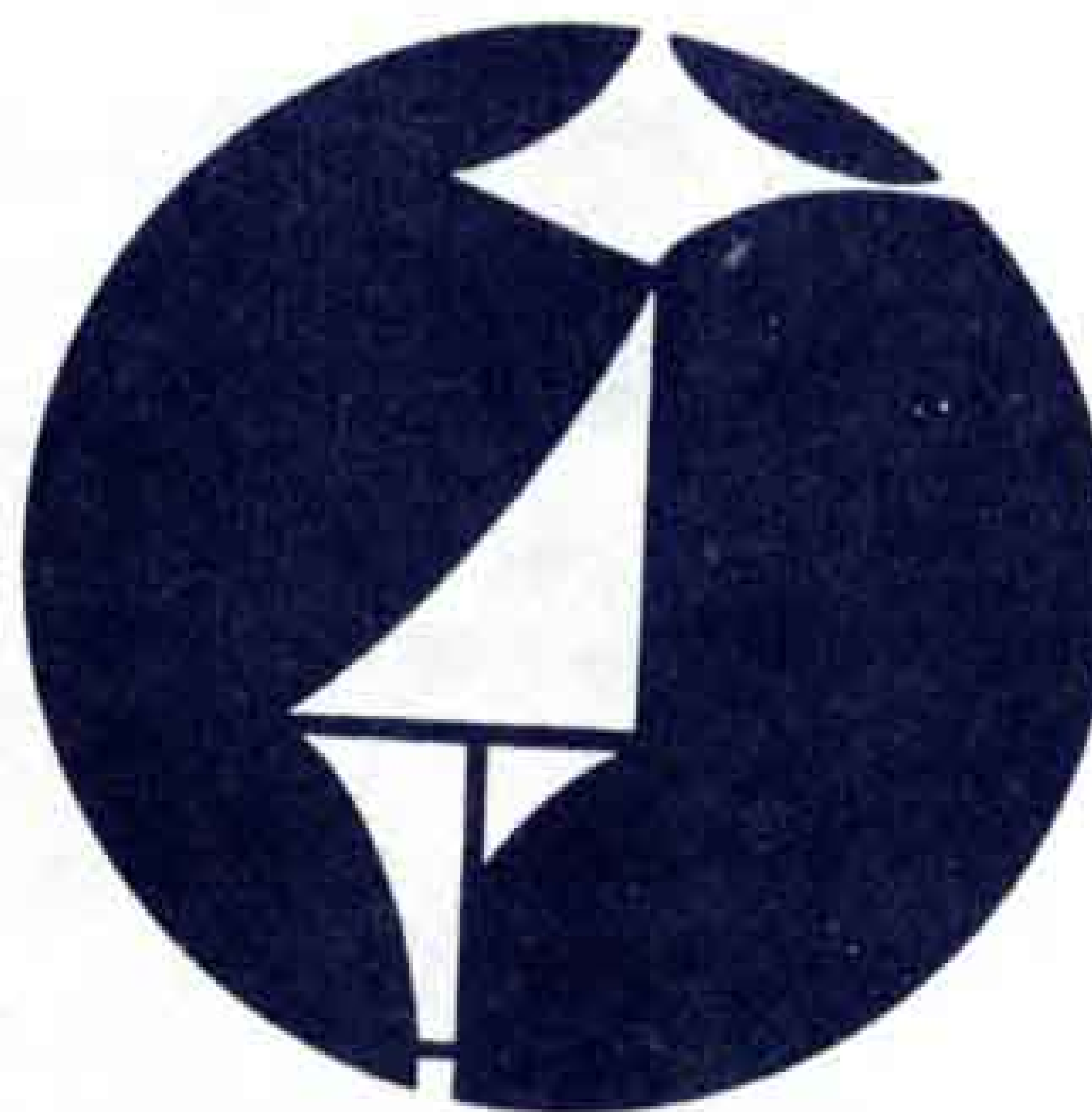
世帯について

世帯人員、住居の種類、居住室数

居住室の畳数。

記入するときの注意事項

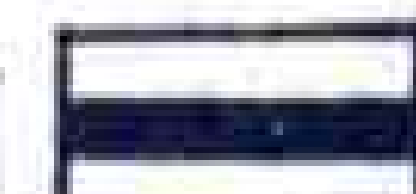
- 必ず黒鉛筆（HB）で記入してください。
- 答をマークで記入するところは、わくからはみ出ないように横線をはっきり記入してください。
- 答を文字または数字で記入するところは、点線のわく（）からはみ出ないように記入してください。

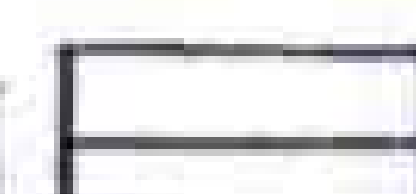


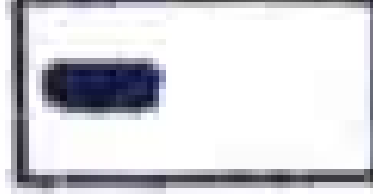
国勢調査
シンボルマーク

い。

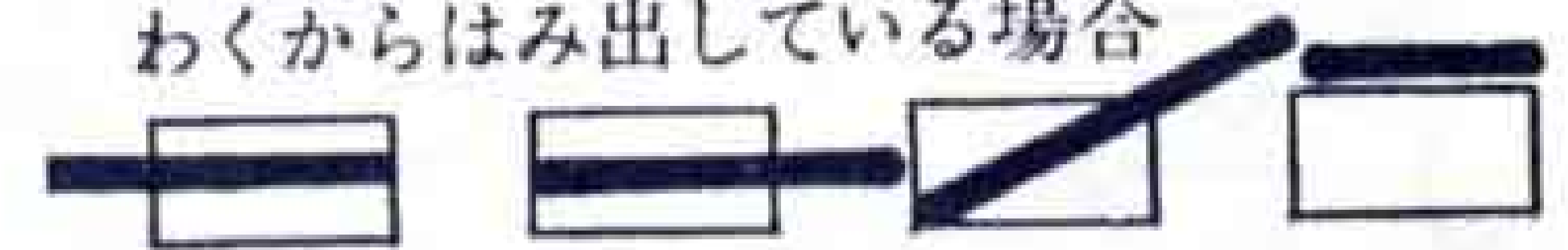
- 誤って記入したときは、消しゴムでよく消してください。

良いマークの例 

悪いマークの例  細い又は薄い

 短い    横線以外のマーク

2ミリメートル（マークわくの横線の半分の長さ）以上わくからはみ出している場合



なお、調査票は直接機械にかけて集計しますので、汚したり折ったり丸めたりしないでください。

国勢調査でわからないことがありましたら、調査員または広報広聴課（51-0123・内線526～529）へ問い合わせください。

9月15日 敬老の日

おばあちゃん長生きして おじいちゃん

長い間社会につくしてきたお年寄り、その道のりは苦勞の連続だったと思います。顔のしわひとつひとつにその苦勞がきざまれているようにも思えます。

その苦勞をねぎらい、これからも長生きし、生きがいのある生活を送っていただかなければなりません。市でも寿大学の開校や仕事をしたい人には職業をあっせん、悩みごとを持っている人の相談、健康保持、病気の早期発見のため老人健康診断など、お年寄りに生きがいのある生活を送っていただくことを心がけています。

今年も9月15日の敬老の日を中心

に、社会福祉協議会、婦人会、町内会のみなさんの協力で各地区ごとに敬老会を行います。敬老会の対象になるのは、明治38年9月15日以前に生れた70才以上のお年寄りで6790人（男2793人、女3997人）です。このうち80才以上の方は160人、90才以上が103人で、最高令者は100才の甲田かめさん（今井）です。なお、88才の米寿の方が76人おられますが、市から肖像画、県知事から木製の湯のみ茶わんが贈られます。

このほか、ねたきり老人の慰問を9月15日から行いますが、対象者は60才以上の老人で3カ月以上ねたきりの状態の人です。慰問には各民生委員が市長の慰問文と慰問品をお届けに上がります。



【元気いっぱいのお年寄り（老人スポーツ祭のひとコマ）】